

明日を拓く経営

東海で頑張る中小企業

中京パイプ工業 職場環境改善に力

銅管加工と真鍮（しんちゆう）管製造を手がける中京パイプ工業（本社春日井市追進町2の38、山田晶子社長、電話0568・31・7161）は、職場環境の改善に力を入れている。5年前から建屋の改修や設備の更新、工場内の整理整頓を進め、10〜30代の若手社員の人材確保につなげている。今秋には、真鍮管製造工場の設備更新と銅管加工工場のレイアウト見直しを行う計画。働きやすい職場づくりと生産性向上を推進し、持続的な成長をめざす。

（春日井・天野（ず重）

同社は1960年創業。ガス機器用の銅管加工と、素材を金型に通して加工する「抽



山田晶子社長

建屋改修や設備更新 若手社員 人材確保へ

伸（ちゆうしん）加工」技術 振動、油汚れ、ほこり、切り 行った。全員参加の整理整頓 活動や改善提案活動にも乗り 出した。

2005年に山田治社長 ち出し、取り組みを開始した。また、生産管理体制を見直 したことで年間123日の休 後継者のめどが見ついた14年

（現会長）の提案で、騒音、



「夢工場」に挑戦する中京パイプ工業の工場内



中京パイプ工業本社

から取り組みを本格化。設備 投資も積極的に行い、19年5 月までに銅管加工の設備を計 30台更新したほか、工場の屋 根や外壁、食堂などの改修を 努める。将来は、ステンレス など異素材の加工の研究にも 着手していく考え。

山田社長は「従業員全員の 協力のおかげで夢工場の実現 が見えてきた。従業員が誇り に思える会社になるよう、さ らなる努力をしていきたい」 と話している。

日を実現した。こうした改善 活動が功を奏し、若手人材の 定着につながっているとい う。

9月には、約30年ぶりに抽 伸加工の設備を更新する。こ れまで大型、中型、小型の3 台をそろえていたが、最新の 中型機種1台を新規購入し、 中型2台とする。同時に、銅 管の受注増に対応するため、 銅管加工の生産ラインを変更 し生産効率アップを図る。